

道徳だより 7月号

R 4. 7. 21

第571話

いよいよ明日は、第1学期終業式。

前日の今日も、欠席少なく、概ね元気に登校し、生活を送っている井波中生です。

道徳だより 7月号を発行しました。道徳のもつ面白さに触れ、互いに心を磨けるように切磋琢磨して行きたいです。

日本でも有数の道徳性が高い学校を、真摯に目指して行きます。

地域の皆様、今後ともご支援ください。



道徳だより

7月号

南砺市立井波中学校

令和4年7月20日発行

道徳の授業の軌跡

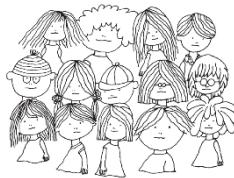
職員室前の掲示板の一角に、道徳の授業の取組や道徳だより等、道徳に関する掲示をするコーナーを設けています。このコーナーには、生徒が道徳での学びを確認できるよう、学習した教材名や価値項目を付箋に書いて貼ったり（下写真）、教材に登場したイラストを掲示したりしています。

学習を振り返るきっかけになればと思います。



2学年

悲しみで両手を覆う少女を囲むようにクラスの生徒が大勢いる絵が9枚。その1枚1枚に、「私のせいじゃない」「ぼくは知らない」「叫べばいいのに」「自分のせいだよ」等、クラスの生徒が少女いろいろなセリフを投げかけます。そのような絵から生徒たちは、一見なんともない言葉一つ一つに真剣に反応し、いじめについて自分の考えや気持ちを伝えることができました。いじめについて考えるよい時間になりました。



3学年

部の後輩が早朝にドリブル練習をしている姿を見て、主人公が自分の生活を見直す「早朝ドリブル」という教材を読み、節度ある生活について考えました。



1学年

登山の前日、2班の5人は「用意でき次第寝ること」という先生の言葉に納得せず夜更かしし、その結果、何度も転びながら下山し、1班の班長に「山に来る資格がない」と言われる教材を読んで考えました。生徒たちは、節度を守ることや体調を整えること、周りの人への影響を考えること等、様々な面から安全な生活のために大切なことを考えました。また、避難訓練での自分の行動を省みる生徒もいました。

